

Toyomatsu English News

とよまつえいごつうしん ～豊松英語通信～

June 18th(6月18日) No.3
文責 Kota Takano (高野 浩太)

ハロー エブリワン
Hello, everyone.(みなさん、こんにちは。) How was your school life?(学校生活はどうですか。) Recently, we feel that the day is hot.(最近、だんだん暑くなってきましたね。) Please be careful that we have heat stroke.(熱中症にならないように気をつけましょう。)

さて、6月と言えば梅雨の時期ですね。じめじめしていて好きではない人も多くいると思います。世界にも梅雨とよく似た「雨季」という雨がよく降る時期がある国があります。今回は世界の雨事情について調べてみました。

＜雨が降ったらチヂミが食べたくなる韓国人＞

韓国人は雨が降るとチヂミが食べたくなるそうです。なぜ食べたくなるのか分かりますか？答えの1つ目は、雨音とチヂミの焼く音がよく似ていて食べたくなるそうです。そのため、雨が降るとチヂミを売っている屋台は、人であふれるそうです。2つ目は、買い物に行かずに家にある材料、多くは小麦粉で料理を作ろうとするからだそうです。ちなみに、韓国ではチヂミのことを「プチムゲ」というそうです。



＜ミャンマーの雨季はやってはいけないことだらけ！＞

ミャンマーの雨季の雨はとても激しく、スコール並みの豪雨が1日中続くこともあるそうです。ミャンマーの雨季の特徴の一つに「ワーゾー」という仏教の習慣があります。この期間は、僧侶は旅行を禁じられます。また、仏教を信仰する人も引っ越しや結婚など、暮らしに大きな変化をもたらす行事は禁止となります。



さらに「むやみな殺生はしない」という考え方から、この期間は肉や魚を食べることを避けて、野菜中心の生活を送る人が多いそうです。雨季が終わると、引っ越しや結婚が解禁となり、結婚式ラッシュ、そしてお祭りラッシュとなるそうです。



昇降口から体育館へ行く廊下の掲示板には、今回紹介した韓国とミャンマーの雨事情以外にも、タイの「分かっていても振り回されるタイの雨季のすごさ」やアルゼンチンの「雨の日に揚げパンを食べる」などの紹介を掲示しました。ぜひ読んでみてください。